

集団的自衛権・消費税増税・原発・ 社会保障削減・TPP・新基地 にNO!を

伊那民報

発行：日本共産
党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那

12月14日投票の総選挙「暴走政治」にストップを

安倍首相が国民の怒りと運動に追いつめられての解散・総選挙は、12月2日公示、14日投票で行われます。安倍暴走政治「集団的自衛権行使容認・消費税増税・原発再稼働・社会保障削減・アベノミクス・TPP・新基地建設等」にNO!の審判を下せる絶好のチャンスです。

藤野氏(比例)

議席必ず

**水野氏(5区) 先頭に
政策と支持訴え**



藤野やすふみ
比例予定候補

藤野やすふみ衆院北陸信越ブロック比例予定候補は、11月末、伊那の各地で消費増税ストップ、平和外交と原発ゼロの道を訴えるとともに、原発の半分が集中する北陸信越で、共産党を伸ばし安倍政権の原発推進路線に打撃を与え

よう」と呼びかけています。

また、5区予定候補の水野ちかあき氏は伊那をはじめ選挙区内で街頭や屋内の集会で、「この2年間、安倍政権がやってきたことを忘れてはいけない。私は正面から対決し、国会に送っていただき皆さんの期待に応えたい」と力をこめた訴えをしています。

「勝てる」「勝たなくては」 の声広がる

15日藤野予定候補の演説を聞いた男性(43)は「安倍さんは、『政治とカネ』をはじめ全部で追いつめられた。共産党に伸びてほしい」と期待。

21日の集会で水野予定候補の話聞いた女性(60代)は「安倍さ

☆選挙制度解説 比例は政党名を

お書きください。
候補者名を書くは無効になります。



水野ちかあき
5区予定候補

んは庶民に増税、大企業に減税であきれる。今度は沖縄で勝てたし頑張れば勝てると思う。勝たたい」と決意を語っていました。

高遠で市政報告会

共産党伊那市議団は11月16日、高遠公民館「やますそ」で市政報告会を開催、30人余が参加しました。

3人の議員から9月の市議会で取り上げた内容が報告され、質問や要望が出されました。

80代の男性は「良い報告を聞くことが出来た、党の議員が頑張っているね」と語っていました。

地 蜂

豊かな文化国家にするために先人の築いてきた文化遺産、文化財保護の重要性を認識し、そのための予算を確保する必要を痛感する。県教委・県文化財保護協会主催の中南信研修会が11月12日行われ、講演「いま、遺跡保存を考えよう」があった。講師は椎名新太郎山梨学院大学名誉教授。主に埋蔵文化財を論じたが、広く文化財全般について考えさせられた▼遺跡保存の状態を見ると、費用が公共事業・民間事業の合計で1997年をピークに急減している。国・地方ともに文化財予算を増やす必要がある。現在国家予算に占める比率は、欧米は1%、日本は0.1%。日本は極端に少ない。自民党政権は文化には冷たい。貴重な埋蔵文化財が、土地利用の際に調査報告されないまま破壊されてしまふのを防ぐため、調査員を増やし予算を確保しなければならない▼問題は考古学に限らない。伊那市文化財審議委員は、かつて15名、今は7名。合併した高遠2名、長谷1名、合計10名と半分以下に減らされたのは困る。巨樹や歴史的遺物、絶滅危惧種等植物・動物全般に、また神社仏閣、小まなお堂、民間信仰、民族行事遺物まで絶えず自配りし、重要なものは文化財に指定してその保存と活用に資するため。

米価暴落大打撃！ 上伊那で10億円余の減収 JA上伊那御子柴組合長に聞く

米価の大暴落が大問題になっています。編集部は、11月17日、JA上伊那の御子柴茂樹組合長に、米価暴落の原因や対策をうかがいました。

コメ農家は赤字

今年の農協から農家への仮渡金は、去年を1俵(60kg) 1736円も下回る1万0192円。2年連続の大暴落です。米1俵の生産コストは1万6千円余(農水省調査)、コメ農家は赤字です。大規模なコメ農家ほど打撃は大きく、「こんな低米価では来年のコメの再生産ができない」と悲鳴が上がっています。

上伊那農協の試算で、米価の暴落でコメ農家が受ける収入減は全体で10億円以上にもなり、この減収は、農家だけでなく上伊那経済にも極めて大きな打撃を与えているとされています。(※昨年度の上伊那のコメ農家の販売総額は42億円)

暴落の原因は、 政府の無策と輸入米

御子柴組合長は米価暴落の原因



インタビューに応える御子柴さん(正面)。右奥は党飯島市議

として、コメの価格を市場原理にまかせる政府の需給調整の無策によってコメの在庫が増えたこと、さらにミニマムアクセス米を毎年77万トンも輸入していること、あげ、その分が過剰米になっていると指摘しました。そして過剰米は、政府が率先して「備蓄米」や「海外食料援助」に回すなどして市場から隔離し、米価暴落で苦しむ農家と地域経済を守る方策を提案しました。

各党の政策に注目

同時に、農家がどうしても必要な最低コストだけは保障できる仕組み、米の再生産の保障される価格維持の政策を、政府25日、農政集会。参加者に求める上伊全員で「がんばろう」



那農政集会を、全国にさきがけて11月25日に緊急に開催するとしても、市町村議会にも陳情書を出すべしと述べました。政府はすでに来年産米の減反強化を言い出しています。選挙で各党の政策に注目したいと語りました。

コメ農家白鳥さんは訴える

1合25円では水より安い

手良 白鳥 廣明

ついに26年産米の価格が1万円に！コメ農家をバカにしている。春から一生懸命育て、収穫の秋がため息の秋になった。規制緩和だ、市場原理だ、政府の都合で農家や消費者のことはそっちのけ、農家は再生産どころではない。我が家も長男と、来年どうしようかと頭を抱えている。ちなみに我が家、水田24畝で稲作12畝、酪農成牛15頭の複合農業である。どうやって経営維持をしようかと・・・怒り多きこの頃である。

さあ！選挙、国民に責任を持つ政党をもっと大きくしよう！

知ろう学ぼう子どもの権利

子どもの育ちと保育・教育を考える会は、20日、西箕輪ぬくもり館で、学習会を開催。約30人が参加しました。東春近中央保育園の篠田千栄子園長とチャイルドラインすわ事務局の宮澤節子局長が講演しました。



話し合う参加者のみなさん

市内の9条の会の動き

- *高遠町9条の会 平和の祭典に12名が参加し、手作りの旗を披露。その後「憲法9条を守る看板」を設置しようと協力を呼びかけ。
- *竜東地区 「9条の会」を結成する動き。30人以上が賛同。
- *美篤9条の会 1月に「戦争体験談を聞く会」を計画。他の9条の会や高校生にも呼びかけ予定。
- *手良9条の会 初めて「憲法9条を守る県民過半数署名」の訪問行動。1月にも計画。「憲法を守る手良9条の会」の幟旗も作る予定。
- *東春近9条の会 平和の祭典を中心になってとりくむ。9条看板設置。毎月ニュースを発行し持続的に活動。

これでいいの！ 高すぎる国保税・後期高齢者保険料

— 実行委が国保問題学習会を開催 —

22日、生協総合ケアセン
ターいなどで、国保問題の学
習会が行われました。これ
は、実行委（上伊那民商・
新婦人伊那支部・医療生協
など7団体で構成）が主催
したもので、約50人が参加
しました。

講師は、湯浅健夫氏（県
社会保障推進協議会事務局
長）で、豊富な資料に基づ
き①国民健康保険とはなに
か②高い国保税（料）の原

因は③医療・介護など最近
の国の動き④国保の広域化
（都道府県単位化）につい
て⑤国保税（料）引き上げ
とどうたたかうか、につい
て話しました。

国保の加入者は、低所得
者が多く、事業主負担がな
い分、国庫負担分で支える
べき。発足時の1984年
は約50%を負担していたの
に、年々その率を下げ、2
008年は、25%でしかな

い。この削減が国保税を高
くしている一番の原因と説
明しました。
最後には、引き上げに対
する具体的なたたかい方を
も示しました。

また、柳川市議からは、
伊那市の具体的な数値の資
料の配布と説明がありました。



熱心に話を聞く参加者

窓の市議

チャイルドライン

民間の団体が、子どもの切実
な声を聴く「チャイルドライン」
という電話を運営している。実
際に運営に関わっている方の話

を聞く機会があった。2013年に長野県
の子どもがチャイルドラインにかけた件数
は、1万1697件で、受付時には常時6
名が待機し、子どもの最善の利益のために
ボランティアで活動を続けている。南信に
もぜひ開設をと背中を押された。
子どもの権利条約が批准されて20年に

前沢けい子

民間の団体が、子どもの切実
なるが、日本の子どものおかれている状況
は、いっとうに良くならない。特に、日本
の子どもたちの自己肯定感が際立って低い
ことが気になる。他者による評価によって
自分の価値を決められるという、点数評価
偏重が子どもたちの心に重くのしかかって
いるということ、子どもたちとの会話が
ら感じている。ゲームやメディアの影響も
大きい。大人も子どもも、一度立ち止まっ
て、ゆっくり周りの自然を見渡す一時がほ
しい。

フロア & ぷろ

17

木曾戦争展を見て

建石繁明

先日の15、16日に、木曾戦争展が上松町であり、16
日に見に行きました。会場の公民館の駐車場から眺め
る中央アルプスの山並みは、伊那谷からの眺望と著し
く異なり、峻険な山脈に目を瞠るものがありました。
戦争遺品としては、私の一番関心のある三八銃が展
示されていて、細部まで写真に写しました。隣で子供
連れの父親が小学4年生の男の子に、「一発しか撃て
ない三八銃で、機関銃と戦っても勝てないわな」と話
して聞かせていました。

この戦争展をみせてもらった私の発見は、協和会
中央本部開拓科編輯による「満州農民への理解」です。
満州移民を目指す人々に訓練生としての教育を授ける
ための教科書の一冊ですが、この冊子数冊を持ち帰っ
た、木曾福島町出身の田沢安夫さんの遺品として寄贈
されたものでした。

この小冊子の「まへがき」に、「満州農民と我々との
結びりは『誠』に始まり、『誠』に盡きる―読者の理
解に期待せんとする点はそこである。満州国民の大
部分は漢民族であり、漢民族について語った・・・」
から始まり、「長白山が生んだ女真族即ち清朝が、よ
く漢民族を統治したことは、彼等が戦争をして敵地を
占領すると、その土地は必ず原住民に統治させた。そ
の社会がもつ生きた性格をよく呑み込んで、これを活
用することを忘れなかったことにある。私共は、これ
らの事実のうちに、満州国統治のこつを会得すべきで
ある。」と記されていました。

（「クマと私の付き合い」は休みます。）

随想

戦争の傷跡は

福島 三澤 豊 (92)

一九五五年（昭和三十年）四月、私は或小学校の四年東組の、担任教師となりました。児童三十二人のクラスでした。驚いたことに父親のなくなっている子が、十五人いました。隣の西組は、三十二人中、半数の十六人でした。

敗戦後の混乱、不況の中で、病気でお亡くなりになった方以外は、戦死だったのです。彼等は、父親の顔は、写真で見るだけ。結婚直後の出征なので、声を掛けられたことが、一度もないのです。母親は若いまま、未亡人の道を歩むことになりました。

山裾の農村は、空襲もなく、穏やかな所であつたはずなのに、戦争の傷跡は、容赦なく、彼等が、七十歳を過ぎた今も、なお心のどこかに、陰を落としていると思います。

それなのに、今、再び「戦争する国」への足音が、聞こえてくるのです。彼等の戦後は終わっていないのに。



催し案内

- ☆ 第1回健康づくり交流会
12月7日(日) 午前10時～12時
東春近「ふれあい館」(JA春富支所北隣)
どなたでも自由に参加できます。
主催 上伊那医療生協健康づくり委員会
連絡先 組合員センター (79-8702)
- ☆ 太陽光発電裁判(スラップ訴訟)
12月17日(水) 午前11時15分～
長野地裁伊那支部
連絡先 支援する会 (96-0224)
- ☆ 上伊那平和のつどい
「八法亭みややっこの憲法嘸」^{ばなし}
12月21日(日) 午後6時半～
南箕輪村民センター
協力金 1000円
上伊那原水協・母親連絡会共催
連絡先 馬場 (090-3558-5360)
山崎 (73-5360)

- ☆ 「脱原発」いな金行動
毎週金曜日午後6時～6時半
いなっせ北側広場
主催 さよなら原発上伊那の会
連絡先 医療生協組合員センター
(79-8702)

風物詩

しめ飾りづくり

(生協総合ケアセンターいな)

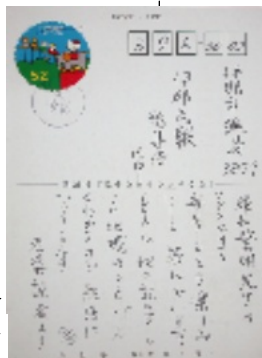


しめ飾りを持つ職員さん
「ご注文待ってま〜す」

「生活リハビリサポートいな」で、作っています。
玄関用八百円、神棚用五百円で注文受付中。
連絡先 090-1865-1749 (中村)

赤旗まつりの成功を確信に、総選挙勝利を!

3日間で15万人が集った41回目の赤旗まつりは大成功。上伊那からは80名余が参加。志位委員長の記念講演や演歌の大御所八代亜紀さんをじかに聴け、目当ての物を買ひ、皆満足。帰路車中で感想や想いなど語り合い、歌も出て老いも若きも大いに盛り上がりました。それから3週間、安倍政権は国民に迫り込まれてついに解散に。「亡国政治NO!」の審判を下す絶好のチャンスです。赤旗しんぶん購読者の力、パワー一気に全開しましょう。(I)



編集部へ届いたファンレターを紹介します。→

内容：建石繁明先生のファンです。毎号とても楽しみにして読んでいます。もちろん他の記事もこの地域のことがよくわかるので勉強になります。老婆読者より